

久万高原町 SS 過疎地対策計画の概要

1. 現状

- ・ 2022 年 11 月現在で、久万高原町内には 9 箇所の SS が営業しているが、利用者減少、設備老朽化等により、この 1 年で 3 箇所の SS が閉鎖となっている。旧町村(旧久万町、旧面河村、旧美川村、旧柳谷村)の各エリアのうち、面河エリア、柳谷エリアは、SS が 0 箇所となっている。

2. 町民の SS 利用状況とニーズ(町民アンケート)

- ・ 自動車用燃料給油の町内 SS 利用率は約 7 割、灯油は 9 割以上の世帯が灯油を使用しているが、町内 SS 購入率は約 8 割で(うち店舗直接が 8 割、配達購入が 2 割)となっている。
- ・ 町民からは、「これ以上の町内の SS が減らないでほしい」という声や、面河エリアや柳谷エリアの住民からは「地区内の SS を再開してほしい」といった声も多く得られている。また、灯油については、SS の閉鎖や高齢化等による将来の調達不安も見られている。

3. 地域の燃料需要の見直し

- ・ 国の燃料需要見直し、今後の久万高原町の将来推計人口等から将来の町内燃料需要を推計したところ、2030 年の町内燃料需要は全体で 7800KL と推計される。(このうち 5100KL は久万エリアの需要量)
- ・ 油種内訳を見ると、ガソリン、灯油は、2030 年には現在の 6 割程度、2040 年には現在の 1/3 程度の需要量になるものと推計される。軽油は、現状で町内需要は大きく、将来も微減傾向であるが、今後の脱炭素化や産業動向等によっては軽油需要が大きく変化する可能性があること等を想定すると、軽油の将来需要は流動的であるといえる。

4. 町内の燃料供給体制維持・確保の基本方針

- ・ SS は、生活を支える燃料供給拠点であることから、既存の SS の維持(少なくとも地区 1 箇所以上の維持)を図る。維持に向けては、町民の町内 SS 利用の促進を図るほか、事業者のニーズに応じて、地上タンク型 SS を導入してローコスト化を図る。
- ・ 一方、町内の燃料需要は今後減少し、燃料販売のみでの事業継続は難しくなっていくものと見られることから、既存事業者の経営効率化や油外サービス等の新事業展開等への支援を行い、既存 SS 事業者の燃料供給機能の維持を図る。
- ・ なお、現在地区内に SS が無い面河エリア、柳谷エリアでは、SS の設置・再開を求める声も多いが、現状では、自立的な経営が可能な販売量(燃料需要)の確保は難しい。そのため、灯油については、まずは灯油供給体制の拡充等により、利便性の確保や供給不安の是正を図ることとし、ガソリンや軽油の供給を含めた SS の設置・再開については、地域の実情を踏まえた持続可能な運営方策等について引き続き検討を行っていくこととする。

5. 町内の燃料供給体制維持・確保に向けた取組方向

- 町民の町内 SS 利用促進と情報提供
 - ・ 町内 SS 利用を促すチラシ・広報等の配布によって町内 SS 利用(町内利用率の向上)を促すほか、町民限定のクーポンなど、町内 SS を利用するきっかけとなるキャンペーン等の実施を検討する。
 - ・ なお、町民アンケートからは、価格、営業時間、定休日等に関する意見等も見られているが、これらの背景や要因等についても丁寧に情報を提供し、町内 SS に対する正しい理解促進も併せて進めていく。また、町民からのニーズが多い営業時間延長、土日営業等について、効果を検証するための実証実験の実施等も検討する。
- 灯油の供給体制の拡充
 - ・ 灯油については、将来の供給不安が見られる一方で、配達利用率は 2 割程度であることから、SS 事業者、関連事業者及び行政との連携による、配達サービスの効率化や拡充を図り、利便性の向上と供給不安の是正を図る。
 - ・ 具体的には、灯油配送の共同化の検討や、灯油ホームタンク設置や IoT を活用した配送効率化、簡易計量機によるミニ供給拠点設置等について検討する。
- 既存 SS 事業者への経営効率化や油外サービス等の新事業展開への支援
 - ・ 燃料需要が減少する中でも、既存 SS の燃料供給機能が維持されるよう、経営効率化や燃料販売以外の事業展開への支援を行う。
 - ・ 具体的には、日用品や観光土産品などの物販機能、コインランドリーやカフェなど、燃料販売以外のサービス機能付加による誘客促進や、地域脱炭素化に関連するエネルギー関連事業への新規参入や事業転換への支援(人材育成、設備投資等の支援等)も検討する。
- 地上タンク型 SS の導入によるローコスト化
 - ・ 既存 SS のうち、地下タンクの更新期限が迫っている SS については、事業者のニーズを踏まえ、地上タンク型 SS の導入を支援する。
- 燃料供給体制の維持に向けた体制づくりと管理
 - ・ 面河、柳谷エリアをはじめ町内の持続可能な燃料供給方策の検討や、各取組の効果的な推進方策等の検討を行うための組織を設置し、引き続き課題解決や各地域の状況に沿った取組の進捗を図るほか、継続的な実態把握や、町内 SS 事業者を含む関係者間の情報交換、必要な人材の確保・育成等を進める。